

**中山間地域を主として人口急減  
超高齢化に向かう日本**

人口8000万人、高齢化率40%時代も間近

日本の安全・安心な生活、豊かさを様々な形で支えてきた中山間地域の機能が消滅  
将来につながるべき日本人の生き方や価値観にも大きく影響

**対策は、まさに  
待たなし！！**

## 中山間地域の現状

### 中山間地域の価値・機能

国土の**約50%**を占め、わが国の生活、産業を支える地域

- 衰退しつつも農業産出額や耕地面積は**約4割**
- 成熟し、収穫期を迎えた森林資源を保有
- 漁業を支えてきた漁村の営み
- 日本の伝統文化や価値観の基層を形成

**今、中山間地域の機能が  
消滅の危機**

### ●日本の貴重な資源である森林や 田畑の荒廃、放棄が進む

#### ■基幹産業の衰退、担い手の減少

<過疎地域における第1次産業従事者の推移> (20年間)

区分	H2(千戸)	H22(千戸)	減少率(%)
農業者	1,204	786	△34.7
林業者	554	462	△16.6
漁業者	97	57	△41.2

出典：総務省「過疎対策の現況【H24年度版】」

#### ■耕作放棄地、荒れた山林の増大

【中山間地域の耕作放棄地面積】

- ・全体の**53.8%**
- ・10年間で、**7.6万ha増加**  
13.2万ha(H7)→20.8万ha(H17)

出典：農林水産省「耕作放棄地の現状について」



### ●日本人の技、知恵、心の拠り所が 消滅の危機

■長年、培われてきた伝統文化・原風景、心の豊かさ、価値観などが後世に引き継げない

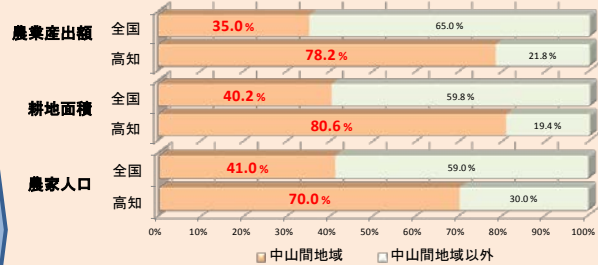
例・・・高知県橋原町津野山神楽は、千年の歴史  
(国の重要無形文化財)

## 都市部が持つ諸問題

### 中山間地域が消滅すれば 都市も生き残れない

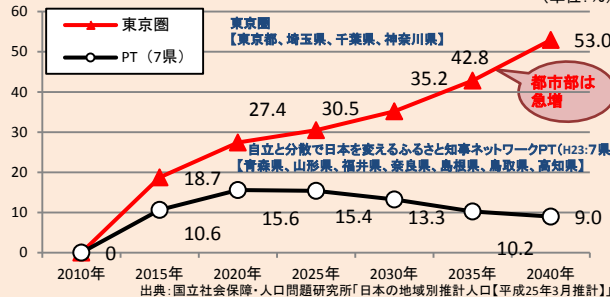
**例えば**

- 安全安心で豊かな食材等の提供が**ストップ**
- ・中山間地域の農業等の衰退により、国民の食文化・生活に大きく影響



### ●高齢者や若者の受け皿への対応

・今後、急増する都市部の高齢者の受け皿がなくなる  
<老年人口の増加率> (単位：%)



・若者等が幅広く活躍できる場が広がらない

都市住民の農山漁村への移住願望

・全体の**31.6%**が願望 (H17に比べ **11%アップ**)

**20歳代が、38.7%で最大**

出典：内閣府「農山漁村に関する世論調査」

## 対応策

### ①都市部と中山間地域の共生

個性を活かした  
地域経済の好循環を実現

#### ○中山間地域の農業が都市を支える

- ・複合経営(高収益の施設園芸、6次産業化など)による攻めの農業の推進
- ・安全・安心で美味しい農産物の生産、供給(食料基地)
- ・都市住民の受け皿の確保(就農の場の創出)
- ・農地、農村の多面的機能の維持・発揮  
(水源かん養、洪水防止等)



#### ○都市の森が山の森を創る

- ・都市の木造化(CLT建築)の推進



- ・山の森を再生(木材需要の拡大)



### ②地域コミュニティの維持、再生

住民力を生かした

**「小さな拠点づくり」**

- 暮らしを守る(支え合い活動)
- 未来を拓く(産業をつくる)

- ・「小さいからできない」ではなく、「小さいからこそ」できる仕組み
- ・「あるもの」を生かした低コストの仕組み
- ・地域の課題やニーズに応じた継続的な仕組み
- ・それぞれの地域で若者が誇りと志を持って働ける仕組み

**中山間地域に若者を残せる  
地域創生が必要**

# 高知県における「小さな拠点」の取り組みについて

## 小さな拠点（集落活動センター）の設置



## 集落活動センターの概要



具体的な取り組み

## 活動のイメージ



あったかふれあいセンター